

白馬村図書館等複合施設基本構想（案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

1. 意見募集対象

白馬村図書館等複合施設基本構想（案）

2. 意見募集期間

平成 31 年 3 月 8 日（金）午前 9 時から平成 31 年 3 月 28 日（木）午後 5 時まで

3. 意見の募集方法

電子メール、郵送、FAX、窓口持参

4. 受付意見数

5 名（2 2 件）

5. 意見・提案と村の考え方

別紙のとおりご意見に対する村の考え方をお知らせします。

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
1	<p>■複合化の候補となる既存の公共施設（P25）</p> <p>図書館と子育て支援ルーム、放課後児童クラブに親和性があり、相乗効果が生まれ、村の推進すべき機能が改善され、新たな交流が生まれるのか疑問です。</p> <p>全てが物理的な空間の制約から、一つの建物内に集合させれば良いという考えには賛成できません。新たに別の場所に建設するのは OK ですが、子育て支援や放課後児童クラブであれば、保育園や小学校との親和性が高いのではないのでしょうか。</p> <p>複合施設に同居させるのであれば、道の駅の方が戦略的に活用できると考えます。</p>	<p>複合化する既存の公共施設について、道の駅も検討候補には挙がりましたが、図書館施設検討委員会やワークショップ等において、子育て支援施設の複合化を望む声が多かったこと、有識者会議においても「図書館には多種多様な人々が訪れるという特徴があり、多世代・多文化に触れる場として次世代の人材を育てるうえで良い組み合わせである」等の意見があり、子育てしやすい村づくりの推進に向け、子育て支援施設を候補としました。</p> <p>道の駅が有する機能について、新たな図書館等複合施設に取り入れていく可能性も含めて、基本計画の策定を進める中で引き続き検討します。</p>	無
2	<p>■図書館機能の規模（P36）</p> <p>人口比では、職員が7人必要ということですが、現在は実質3人で対応しています。開館以前から毎年1人ずつ増やして、いろいろな工夫やイベントも少しずつできる事を増やしておくの良いと思います。やりがいと誇りが持てるよう、ぜひ雇用条件も正規採用の職員を増やしてほしいです。</p>	<p>有識者会議においても、施設建設以前からイベント等を開催することで新たな複合施設の事を地域内外に発信し、関心を高めることの必要性が議論されています。職員の採用及び雇用条件等については予算的な課題もありますが、ご意見として承り、今後検討します。</p>	無
3	<p>■その他機能の規模（P39）</p> <p>構想本文に記載のとおり、各機能が中途半端にならないよう気をつけてください。</p>	<p>施設の規模と機能については、十分留意しながら基本計画を策定します。</p>	無

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
4	<p>■ 交流を生み魅力を高める機能の検討（P36）</p> <p>コンセプトの段階で、ある程度明確に絞って記述した方が良いと考えます。</p> <p>①多面的ふれあい交流機能</p> <p>②アーツ（美術・芸術）＆クラフト（工芸）機能</p> <p>③村特有の歴史・文化伝承機能</p> <p>④その他（特に要望の多い事項）</p> <p>優先度を数値化して決定する。</p>	<p>基本構想の策定過程においては、機能の絞り込みまでできなかったため、各機能の実現可能性等も含めて、基本計画の策定において詳細を検討します。</p>	無
5	<p>■ 建設候補地（P40）</p> <p>私案では、図書館と道の駅を複合施設として統合させる方向のため、役場・駅周辺ではなく、グリーンスポーツの森エリアに新設する。中心エリアより離れているので、村内の交通網計画にも関連すると思いますが、駐車スペースも十分確保でき、景観的にも白馬三山も見え、環境的には最高の場所と考えられます。また、施設周辺には民俗資料館、テニスコート、キャンプ場、多目的広場、遊び場の空間が多くあることから、人が集まり、楽しみ、交流できる場になると考えられます。</p> <p>同時に、現 JR 飯森駅を移動させ、この施設前に駅を造るとさらに便利になると考えます。</p>	<p>様々な議論を踏まえて、子育て支援施設との複合化を基本的な方針としていること、多くの人が集いやすい場所ということ鑑み、白馬村役場もしくは JR 白馬駅周辺を有力な候補としています。</p> <p>ご意見として承り、候補地を絞り込む中で参考とさせていただきます。</p>	無

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
6	<p>■ 図書館の目指す姿 (P41)</p> <p>「滞在型」「交流型」については大賛成です。</p> <p>ただし、もう一つ追加してほしいのは「情報基地（知の拠点）型」です。ここへ来れば白馬村の全て（過去・現在・未来）が判る場所にすることです。知る・学ぶ、集い・交流することにより、先人の経験を生かして、新しい村を創造し、情報を発信することが必要ではないでしょうか。</p>	<p>図書館が「情報基地（知の拠点）」となることは、住民や有識者も含めて多くの方から意見として寄せられています。</p> <p>基本構想においては、「図書館に求められるサービス」（P43～）の中で、</p> <p>(1)「地域の仕事を知る」事業展開</p> <p>(5)地域住民が世代を超えて学ぶ場</p> <p>(6)地域資料の保管・活用</p> <p>として、地域の情報を「知る」という視点は記載していますが、ワークショップや有識者会議等でも出された「発信」に関する記載がありませんでしたので、</p> <p>第4章 新たな図書館等複合施設の機能の検討</p> <p>2. 図書館に求められるサービス</p> <p>に以下の記載を追加します。</p> <p>(8) 情報基地（知の拠点）としての役割</p> <p>白馬の過去・現在・未来や海外の先進的な情報を収集するとともに、イベントやセミナー等を通じて、村内外に積極的に情報を発信する「情報基地（知の拠点）」としての役割を担い、住民の暮らしやまちづくり・地域活性化に貢献する図書館となることを目指します。</p>	有

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
7	<p>■ 図書館の目指す姿 (P41)</p> <p>ワークショップでは、小水力発電、木質バイオマス発電、雪室等の自然エネルギーの活用、断熱性を高めた環境負荷の低い施設、地域産木材の利用といった環境に配慮した施設のあり方が議論されていました。</p> <p>白馬の強みである自然環境を守ることや、次世代への負担を考慮し、施設自体も環境にやさしいものであってほしい。</p>	<p>ワークショップにおいても多くのグループで自然エネルギーなど環境に配慮した施設を望む意見が出されているため、</p> <p>第4章 新たな図書館等複合施設の機能の検討に、以下の記載を追加します。</p> <p>7. 環境への配慮について</p> <p>小水力発電や木質バイオマスといった自然エネルギーの活用、断熱性の高い建物とすることによる省エネ化など、環境負荷に配慮した施設とすることで、次世代への負担を抑えるとともに、環境教育にも活用できる持続可能性の高い施設のあり方を検討します。</p>	有
8	<p>■ 図書館に求められるサービス (P43)</p> <p>7つの項目が挙げられていて、子育て中、若い世代の要望には応えられています。全世代の暮らしに役立つ情報の提供という項が不足していると思います。</p>	<p>「全世代の暮らしに役立つ情報の提供」については、指し示す範囲が広くなることから、図書館における通常のサービスとして位置づけるとともに、上記の追加項目「(8)情報基地（知の拠点）としての役割」の中で、住民の暮らしにも貢献する図書館を目指す方針を記載します。</p>	有
9	<p>■ 図書館の目指す姿 (P43)</p> <p>中高生の居場所・活動拠点に大賛成です。地域の多様な人々との交流の担い手として、若い力を発揮してもらいましょう。</p>	<p>基本計画において、より具体的なあり方をお示しできるよう検討します。</p>	無

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
10	<p>■ 人材育成と企業支援（P45）</p> <p>メイカースペースの併設を希望します。</p> <p>地域活性化の成功事例の多くは住民主導で行われ、地域の人が“自分たちで考え”、“自分たちで行動し”、“自分たちで作る”という DIY 精神が鍵を握っていると考えています。</p> <p>このうち、“自分たちで作る”ためには「メイカースペース」は必須でしょう。例えば世界中から注目されているポートランドの ADX というメイカースペースが町の発展に大きく寄与したことは明らかです。</p> <p>白馬村には様々な人が移住してきており、多種多様な人々のアイデアを形にすることが出来れば、実に面白い物を生み出すことも可能でしょうし、それが産業になる可能性も十分にあると考えます。</p> <p>子どもたちにも最先端のツールを使って物作りをする機会を与えることになり、大人には想像もつかない物を生み出す可能性も秘めていると思います。</p> <p>図書館で電子回路と CAD 等の知識を得て、自分で設計したものを 3D プリントして Arduino や RaspberryPi を使ってロボット作るといったことも、メイカースペースと知識を持ったスタッフがいれば、夢物語でなく、すぐに実現可能です。</p>	<p>ワークショップにおいても、「ものづくりを楽しめる空間」、「レーザーカッターや 3D プリンタのあるメイカースペース」といった意見が出されており、子どもたちの学びや挑戦の場としても高い効果が期待できることから、</p> <p>第 4 章 新たな図書館等複合施設の機能の検討</p> <p>2.図書館に求められるサービス</p> <p>(7)人材育成と起業支援</p> <p>の 3 段落目に以下の記載を追記します。</p> <p>「さらに、ものづくりを学び実践できるメイカースペースを備えることで、子どもたちを含めて「自ら作る」ことができる人材育成の可能性を探ります。」</p>	有
11	<p>■ 子育て支援施設との連携（P45）</p> <p>子育て支援を大きくとらえ、児童館の役割を持たせて、小・中・高校生にも対応できると良いと思います。</p>	<p>他の地域では、兄弟で一緒に利用することや多世代の交流を促進することを目的として、利用者の年齢を制限しない子育て支援施設も増えています。基本計画の策定に向け、ご意見として承り、参考とさせていただきます。</p>	無

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
12	<p>■健康・医療との連携（P46）</p> <p>「医療健康情報サービス」として家庭医学等の情報提供に触れていますが、必要な時にすぐに活用できるよう、医療保険、介護保険制度等の最新情報の提供を望みます。</p>	<p>ご意見として承り、基本計画の策定に向けて参考とさせていただきます。</p>	<p>無</p>
13	<p>■交通アクセス（P49）</p> <p>白馬村内の児童として、白馬南小学校の児童の利用も保障すべきで、その方法を探る必要があります。そのためには、放課後児童クラブに行くための公共交通システムとして、スクールバスを走らせることが必要です。また、休日に図書館・児童館が実施するイベントへの参加も保障してください。</p>	<p>保護者の迎えの観点からは、住居の近くに放課後児童クラブがあることが望ましいという観点から、白馬北小学校放課後児童クラブのみを複合化の候補としています。休日の利用を含めた移動手段の確保については、村全体の地域公共交通の中で検討します。</p>	<p>無</p>
14	<p>■交通アクセス（P49）</p> <p>人や情報が集積される「駅」機能の利活用については、まさにその通りです。「駅」プラットフォームを利活用することにおいては、「道の駅」は最適の場所と考えます。グリーンスポーツの森は、国道にも面しており、鉄道もあり、そこに道路と鉄道両方の駅ができれば、人と情報が集積されることは間違いありません。人は交通網で、情報は図書館施設で、こんなグッドマッチングはありません。インドア・アウトドア交流、滞在広場として十分に機能を果たせるに違いありません。</p>	<p>様々な議論を踏まえて、子育て支援施設との複合化を基本的な方針としていること、多くの人が集いやすい場所ということを鑑み、白馬村役場もしくは JR 白馬駅周辺を有力な候補としています。</p> <p>道の駅が有する機能について、新たな図書館等複合施設に取り入れていく可能性も含めて、基本計画の策定を進める中で引き続き検討するとともに、建設候補地の絞り込みにあたり、ご意見として承り、参考とさせていただきます。</p>	<p>無</p>

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
15	<p>■交通アクセス（P49）</p> <p>誰でもいつでも利用できる施設であることが村民の願いです。施設から離れた場所の住民に「ネットワークの活用」とありますが、使えない人も少なくありませんし、図書館に行ってそこで図書を手に取り読みたいのです。方針で「交通アクセス」について項を立てているのに「駅」機能の活用だけです。そこまでの交通手段がない運転免許を持たない人、児童・生徒はどうすればいいのですか。図書館施設検討委員会報告書では新図書館の基本的な考え方の中で明記しています。公共施設を回る循環バスが必要であることを方針に明記してください。</p>	<p>有識者会議においては、インターネットを使ったシステムに限らず、「サテライト・ライブラリ」の考え方も議論されました。基本計画の策定に向けて、「ネットワーク」のあり方を多面的に検討するため、</p> <p>第4章 新たな図書館等複合施設の機能の検討</p> <p>2.図書館に求められるサービス</p> <p>(4)ネットワークシステムの活用</p> <p>の記載を以下のとおり変更します。</p> <p>「ネットワークシステムで予約ができ、資料が自宅や家の近くまで配達ができるなどの宅配サービスやサテライト・ライブラリの可能性を検討します。」</p> <p>なお、施設を訪れるための移動手段の確保については、村全体の地域公共交通の中で検討します。</p>	有
16	<p>■交通アクセス（P49）</p> <p>館内や敷地内は当然バリアフリーであると思いますが、そこに行くまでの手段の無い人は利用できません。すべての村民を対象とするのであれば、デマンドタクシー以外の公共交通システムを同時に考えていく必要を感じます。</p>	<p>施設を訪れるための移動手段の確保については、村全体の地域公共交通の中で検討します。</p>	無

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
17	<p>■今後の検討—基本計画の策定に向けて（P50）</p> <p>庁内にきっちりとした「施設整備検討委員会（プロジェクト）を制して行うべきと考えます。関係部署の担当者が集まるのではなく、全庁的に取り組むべき事業です。この委員会には、外部メンバーも必要と思います。例えば、まちづくりプランナー、空間演出デザイナー、建築関係者、図書館関係有識者…。再度構想の見直しを行って、複合する機能・施設の相乗効果を重視して再検討をお願いしたいです。</p>	<p>今後の検討体制につきまして、ご意見として承り、参考とさせていただきます。</p>	無
18	<p>■運営体制と施設のあり方の検討について（P51）</p> <p>安定して一貫した方法が必要であり、直営が望ましいと考えます。</p>	<p>ご意見として承り、基本計画の策定に向けて、参考とさせていただきます。</p>	無
19	<p>■全体に関して</p> <p>文字ばかりをずらずらと並べるのではなく、必要に応じてビジュアル化（グラフィックデザイン、インフォグラフィック）し、子どもでも老人でもわかりやすい資料作りをお願いしたい。（視覚伝達重視）</p> <p>概要版として A3 表裏で全てがわかるようなものも必要ではないか。</p> <p>住民説明会、地域懇談会などもっと住民を巻き込む・引き込む形での基本計画策定を希望します。（検討委員会、ワークショップ、有識者会議の議論を無駄にしないで）</p>	<p>資料のグラフィック及び住民説明会・地域懇談会等につきましては、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>概要版につきましては、A4 版 8 ページで作成する予定です。</p>	無

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
20	<p>■全体に関して</p> <p>2012年から図書館に関わりずっと考えてきて、多くの人たちの想いを聞いてきました。やっと具体的になってとても嬉しく、2023年の開館が楽しみです。</p>	<p>基本計画の策定及び建設に向け、多くの方の想いを形にできるよう検討を進めます。</p>	有
21	<p>■その他</p> <p>北小学校の放課後児童クラブがふれあいセンターの3階にありますが、小学校の空き教室を利用し、校庭を解放すべきです。</p> <p>現図書館が放課後の子どもたちの無料の児童クラブになっているように感じます。学校という公共施設の有効利用を当面探りましょう。</p>	<p>放課後における学校施設の利活用については、平成31年度より「放課後子ども教室」として空き教室や校庭などを利用した事業を試験的に実施します。</p>	無
22	<p>■その他</p> <p>政策企画係が村内のいろいろなプロジェクト（事業）の調整役だと思いません。今回の複合施設建設は、他の公共施設管理計画、地域公共交通網計画、道の駅、教育全体等と親密に関わり合っています。</p> <p>構想（コンセプト）で大きな誤りがあると取り返しのつかないことになりかねません。しっかりじっくり焦らず時間・能力・体力をかけて策定していただきたい。（1 + 1 = 2ではなく、3にも5にもなるように…）</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>	無